

1

検査・処置前の相談

* 子どもたちは(どんなに嫌でも)必要な検査や処置を受けざる負えない
→自己コントロールできない経験が増える

* 子どもたちが選べる経験を増やすことで、頑張る力を引き出せるように！

◎採血時を例に挙げると...

- ①姿勢：自分で座る/誰かの膝の上に座る/処置台に臥床する等
- ②カウント：「321」「123」で穿刺する等
- ③穿刺時：見たい/見たくない
- ④見たくない時：注意の逸らし方(DVDを見る、ストレスボールを握る等)

2

大切にしていること

* 誠実に嘘はつかない

* 子どもたちの反応をアセスメントしながら情報量を調節する
→最初は少しずつ情報を出し、その上で
(A)たくさん質問してきたり、知りたそうな様子の中には詳細に伝える
(B)話すうちに不安な様子が強くなる場合や多く知ると不安が増してしまう子には、大事なポイントやその子の役割のみを伝える



ご質問/相談のある方は遠慮なく

お問合せください